2026（令和8）年度学校推薦型選抜【地域貢献人材発掘枠】
出題の意図と評価基準

【集団ディスカッションのテーマ】

子どもや若者の意見を尊重することは大切ですが、一方で大人には子どもや若者を守る責任もあります。これらのバランスをどう考えたら良いでしょうか。みんなで話し合ってください。

【出題の意図】

児童福祉法やこども基本法には、すべての子どもが意見を表明し、その意見が尊重される権利（意見表明権）を持つこと、そして大人には子どもの最善の利益を守り、成長を支える責任があることが明記されている。つまり、「子どもの意見を尊重すること」と「子どもを保護すること」は、どちらか一方ではなく、どちらも大切な権利であり責任である。

この二つの価値は、ときに対立や葛藤を生む。子どもが自らに関わることを自由に決めたいという思いと、子どもの安全な暮らしや将来を考えた大人からの助言や制限とのあいだで、どのようにバランスをとるかは簡単な問題ではない。

福祉を学ぼうとする高校生がこのテーマについて考え、話し合うことには大きな意義がある。子どもが意見表明権を持つことを「自分ごと」として捉えられるようになるだけでなく、大人の立場や責任を想像し、世代間の関係や社会の仕組みを多角的に考える機会となるだろう。さらに、他者の意見を尊重しながら自分の考えを表明する経験を通じて、将来、他者の権利を尊重しながら社会に参加する主体として生きる力を育むことにもつながる。

こうしたディスカッションを通じて、他者の意見や経験、多様な価値観に触れながら柔軟な思考を身につけ、自らの価値観や考えを明確に表現することは、これからの福祉社会の実現に取り組む者に強く期待される態度である。

以上のことから、本テーマを題材とすることで受験生は多様な視点から議論を深めることが可能であり、議論を通じてアドミッションポリシーに定める、知識・技能、ならびに思考力、判断力・表現力についても評価することができる。